

1 研究主題

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践

－教育の情報化の推進を通して－

- (1) 高度情報通信社会に主体的に対応できる情報活用能力の育成
- (2) ICTを活用した学習指導の工夫・改善
- (3) 教員のICT活用指導力の向上

2 研修内容

- (1) 日 時 平成25年7月31日（水）9:00～11:45
- (2) 場 所 西予市三瓶体育館・三瓶中学校コンピュータ室
- (3) 内 容

ア 講義「スマートフォン・携帯電話のモラル・マナーとその指導について」

講師 KDDIケータイ教室事務局

市生徒指導委員会と合同で専門家を招き、講義をしていただいた。スマートフォンを中心とした情報機器の現状や、児童生徒のスマートフォンや携帯電話利用のトラブル事例、モラルやマナーなどについて話を聞き、その指導の在り方などの情報交換を行った。



イ 実践事例報告「ICT機器の活用について」

講師 西予市各支部代表者

西予市各支部の代表者が、授業などでICT機器をどのように活用しているか、事例発表を行った。電子黒板やタブレット型情報機器の活用事例が多く出され、今後、研修を深めていく必要を感じた。



ウ コンピュータ操作体験

講師 西予市情報アシスタント 国広 達也氏

新しいOSであるWindows 8の起動と終了、その他操作方法について体験・研修を行った。



3 今後の課題

昨今のスマートフォンの進化はめざましく、児童生徒にもいやおうなく普及している。それに伴ってトラブルの報告も増えており、学校としても避けては通れない状況になっている。情報教育の面でも生徒指導の面でも、まずはその現状をよく知った上で、児童生徒とともによりよい使い方について考えていく必要があると感じた。

また、電子黒板等の活用事例とともに、より手軽なタブレット型情報機器の活用についていろいろな報告があった。電子黒板ではコンテンツの開発が課題とされているが、タブレット型情報機器の場合は、より手軽にその場で写真を撮ったり、ネットのコンテンツを利用したりでき、より大きな可能性を感じることができる。今後さらに普及が進むことを考え、児童生徒に使用させることなども視野に入れて、さらに研修を深めたい。